

工房

夢来夢来

むくむく

かわらばん

第9号 平成9年10月8日発行
 住所： 狭山市狭山台4-25狭山台南小学校内
 〒56-5364
 発行責任者 田内 勝枝

夢来夢来に来て

「おはようございます。」と何年かぶりに気持ち良く言えた。
 平成2年1月に病気に倒れて自分自身の気持ちがなくなってしまい、毎日がり
 ハビリの生活（歩く事）ばかりで他の事は考えられずに昔の自分をなくして
 りました。

1年ほど前から堀さんから「夢来夢来」のおさそいがありました。なかなか
 かぶりきれずにいました。

今年の6月に高田さんから主人にお話がありまして「行って見てはどうか」
 と言われ、こんな私でも出来る事があれば行って見ようと思いました。
 皆さんいい方で私はなんで早くこなかったのかと思いました。そうしてお仲間
 に入れて頂きました。

今、私は「織物」をやらせて頂き頑張っています。

山口 由起子





今思うこと、そして……

「夢来夢来」の2学期が始まって、早くも1ヵ月が過ぎて行きました。台南小に移って1年半近くなり、みなこの生活に少しずつ馴染んで来た今、ふと考えることがあります。私達障害者にとって、またボランティアにとって「夢来夢来」の存在っていったい何んなのかということ。そして運営委員の1人として今後どういう方向づけをして行けばよいのかなどなどです。月水金を通して核になるものが無いということは、曜日毎に自由な反面とても心もとないのも事実です。

ハンディがあっても楽しくできる作業を見つけること、これが大事なことです。障害の種類も程度も異なる人達が集まるこの場所が確かなものになってゆくにはまだまだ試行錯誤の繰り返しでしょうがみんな力で力を合わせてやりぬいて行けたらと思います。その為の礎に少しでもなれたら、今、心からそう思い夢来夢来に通っているこの頃です。

S Y

私は夢来夢来という場所を知り、ありがたく思っています。それは、いい仲間と自由に好きな事が出来るからです。

私は今、週2~3日、夢来夢来に行かないかわりに、絵を描いています。「アトリエ近藤」という場所に通っています。今は水彩画、ゆくゆくは油絵を描くつもりです。そして、絵がたまったら展覧会をしたいです。来てね。

夢来夢来はみんなが仲良くって楽しいです。

ただ、もっと同じ世代の人がいればいいな。！！

それと遠いのが少し不満。あと狭山台南小学校の校庭を貸してもらえたらなあ、だってハンディスポーツって月1回しかないでしょ！！もっと体動かしたい、その時できればボールなども借りたいです。

隅山知砂

工房夢来夢来にお世話になって感じた事

皆様とふれあえた事、本当に嬉しく思っております。まず、ボランティアさんの温かい気持ちが心からにじみ出ていて本当に嬉しく思います。今までの私は家にこもりがちで、体の具合がいつも悪く毎日が暗く辛い毎日でした。今では自分から進んでいろいろなサークルに入っております。友達もたくさんでき、毎日がとても楽しくなりました。これもみんな皆様の温かい気持ちが伝わってくるからだと思えます。本当にボランティアの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。これからも皆様どうぞ宜しくお願いします。

中島みち子

特別寄稿

デイサービスセンター

ムクムク

工房“夢来夢来”を訪ねて

後藤桃子

I. はじめに

まだ梅雨明けの宣言もされていないのに、連日真夏の暑さが続いていた7月中旬の午後、当会の有志7名で工房“夢来夢来”を見学させていただきました。“夢来夢来”で行なわれていることの一つ一つがとても新鮮で、そこに関わっていらっしゃる方々のお話の全てに、そのパワーのすばらしさと、「やればできるのだ」と、見学者それぞれに思いを新たにしました。貴重な見学となりました。

そこで今回は、この工房“夢来夢来”について、皆様にご紹介したいと思います。

II. “夢来夢来”の誕生

“夢来夢来”は、狭山市障害者団体連絡会（以下、狭障連）が発起人となって、平成7年9月に発足しました。かねてから障害者が自宅から出て集い、交流したり、なにか作業をしたりしながら社会参加できる場所が欲しいと考えていた矢先の平成7年8月、市内に在る“羽ばたき作業所”が移転し、その後の建物が取り壊しになるまでの数ヵ月間、使用可能との情報を聞きつけ、柏原に在るその“羽ばたき作業所”の跡地を取りあえず

利用するというかたちでスタートすることになったのです。

その後、その建物は予定どおり取り壊しになるということで、昨年6月、狭山台南小学校の空き教室を利用させていただけることになり、僅か1年たらずでの引っ越しとなりました。もちろん、そこにいたる道のりは大変厳しく、狭障連としても何度も障害福祉課を始め関係機関に対する働きかけを行なうなど、多くのエネルギーを費やした結果としての成果であることはいまでもありません。

ともあれ、関係者の努力と熱意が実って、まずは安定した施設を獲得することができたのです。そして昨年6月、空き教室の一角に流し台など必要な設備が取り付けられ、多くのボランティアさん初め関係者の方々に支えられて、“デイサービスセンター工房 夢来夢来”として新たに開所する運びとなったのです。

III. 夢来夢来の現状

工房“夢来夢来”は現在、月、水、金の週3回、午前10時から午後3時まで開かれています。参加対象となる障害者は、障害の種別や程度、年齢などによる制限はなく、希望者は誰でも参加できることになっています。

現在のところ、月曜は主にワープロ、水曜は視覚障害の方が多く、編み物、洋裁、機織など、金曜は主に肢体不自由の方の編み物や牛乳パックを利用したの椅子作りなどの活動を行っています。そし

て、これらの活動に対して、今のところ障害の有る方が10数名、ボランティアの方は実働で30名程の方が関わってくださっており、障害のある方もボランティアさんも週1回の参加が最も多いとのこと。特に、送迎から作業補助までボランティアさんの果たす役割の大きさには頭の下がる思いでした。

現在、“夢来夢来”の専用スペースとして教室3室が当てられており、その一つは食堂や会議室として使われています。あとの二つが作業室で、機織機が9台、ワープロ10台、ミシンも工業用を含めて4、5台、更にコピー機からピアノまで、所狭しと並んでいます。作業室の一つには9畳ほどの畳も敷かれておりくつろげるようになっていて、使い勝手は良さそうですが、冷房が入らないとのこと。我々の見学当日もとても暑い日でしたので、冷房の設備があれば皆さんが快適に作業できるだろうと感じました。

校舎入り口のスロープやトイレは既に車椅子対応に改修してもらっており、廊下の一角には“夢来夢来”の紹介パネルや作品などが飾られていました。

IV. おわりに

工房“夢来夢来”を見学させていただいて私がまず感じたことは、「何から何まで手作りのとても暖かい施設だなあ」ということでした。当会会員の吉田幸子さんも生き生きと編み物をしていましたし、立澤さんの奥様もお子さんのために

せっせとミシンかけをして、可愛い作品を工夫していました。その他、岡田さんや宇賀田さんも楽しみに参加されているとのこと。やはり、このように障害の有る方が気軽に参加できる場が絶対に必要なのだと感じました。

“夢来夢来”は、このような皆さんの期待に答えて少しずつですが整備が行なわれており、この4月からは市の囑託職員1名、専属で派遣されるようになりました。

しかし、この施設が今後さらに発展していくための課題としては、何といたっても財政基盤の確立が必要だと思います。デイサービスセンターとはいえども現在、市からの継続的な補助金は全く出されていません。市からは、この南小に移って来るのに際して、施設・設備の一部改修や引っ越しのために100万円の補助があったのみとか。今年度は、狭障連からの補助金65万円のみで運営されているのが実情です。今後さらに事業を拡大・充実させていくためには、是非安定した財政的な裏付けが不可欠であると感じました。

今後、市に働きかけを行うことはもとより、民間団体や企業等にも大いにPRしていくことが重要だと思います。狭障連を初め関係者が一層結束を強め、課題と取り組んでいかなければならないことを痛感した次第です。

狭山市赤十字奉仕団は、工房・夢来夢来開所時から毎月第2第4月曜日にさき織りのお手伝いに団員2名が参加しています。織機も開所時より台数もふえてバック、コースター、他 色々な作品が出来あがっています。

お手伝いに参加した団員の声かけで地域の方からの布の提供の申し出もあり、善意の輪が広がりすばらしい作品づくりに、よりよい奉仕が出来よう努めていきたいと思っています。

松川 恵美子



月曜ニュースあれこれ

・手織りの事

マフラー作りに取組み中のSさん。

手織りの指導をして下さるTさんが織模様の工夫をして縦糸の準備と通し方を教えています。

・ピアノのレツスン

寄贈いただいたピアノの調律もすんで、今ピアノのレツスンを熱心に励んでいるTさん。曲は「エリーゼのために」。

他にもピアノを習いたいと言うボランティアさんもいて「教えて下さる方がいないかなー」という声も聞こえます。

・ワープロの事

第9号、10月発行予定の「かわらばん」作り。
文章作りの勉強中。



・布裂き作業

ボランティア日本赤十字奉仕団の方々が第2、第4の月曜午前手織り（裂き織）の横糸にする布裂き作業に来て下さっています。

秋のお楽しみ行事に 出掛けよう

第3回 ダンスパーティ 主催 狭障連

ホンダむさしの会の生バンドによる演奏で楽しく踊りましょう。
多くのご参加をお待ちしております。

日時 10月19日(日) 午後1時より
場所 狭山台体育館 アリーナー

第10回 奥富 かかし祭

夢来夢来では、水曜日のメンバーが参加します。9月17日から
作品のかかし制作を開始しています。どんなかかしが出来るか
楽しみですね。ご覧になりたい人は、会場にお出かけ下さい。

期間 10月26日(日)～11月3日(祝) 1週間
場所 奥富小学校 南側 田んぼ

第18回 歩け歩け大会

秋の花や紅葉、山の空気を味わい充実した1日を過ごしましょう。

日時 11月9日(日)
行き先 群馬フラワーパーク
集合場所 狭山市役所

(寄贈)

冷蔵庫	堀兼	岩田	勇様
毛糸	狭山台	渡川	様
ふとん生地	狭山台	平沢	様
"	入間川	宗像	様
パソコン	日本サン・マイクロシステムズ㈱ 村津 良平様 他		
ストーブ	中央	中川	貞子様
着物(数点)	中央	坂井	様



♡編集後記♡

皆さんこんにちわ・・・
今年の夏は暑い日が続きましたが、皆さん楽しい夏を過ごされましたか。
また9月に入って、気持ちを新たにしていきたいと思います。